

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	佐野インランドポート活用促進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	産業政策課			款	7	新規or継続	継続事業
	係	産業政策係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	113	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	事業期間	開始年度	H30	実施方法	一部委託
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり		終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	3	出流原 P A 周辺開発の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	民間事業者の佐野インランドポートの活用を促すことにより、佐野インランドポートの安定した運営を行い、地元産業の国際的競争力の増加を図ることをもって、交流拠点都市の実現と活力ある産業の振興及び地元経済の活性化を目指す。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	荷主・物流事業者の佐野インランドポートの利用企業を増やすとともに、船会社のデポ・CRU契約を得る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐野IP利用荷主・物流事業者等の数	社	417	575	664		

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	佐野インランドポートの活用促進のため、企業等に対して施設の周知を図るとともに、荷主企業や船会社、物流事業者などへポートセールスを実施。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		ポートセールス件数	件	62	68	77
		事業費計	千円	1,017	1,019	1,035
		一般財源	千円	1,017	1,019	1,035
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野IP利用荷主・物流事業者等の数は順調に増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		佐野IP利用荷主・物流事業者等の数	社	417	575	664	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断					
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	効果が上がった	効果が変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった			
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	指標全体	効果が上がった		費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・佐野インランドポートの活用促進のため、港湾や物流業界全体の情報を収集し、地道にポートセールスによる施設の周知を図っていく必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	佐野インランドポート指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	産業政策課			款	7	新規or継続	継続事業
	係	産業政策係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	113	名称	根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり		事業開始年度	H30	実施方法	指定管理者
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり		事業終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	3	出流原 P A 周辺開発の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	指定管理者制度を活用して佐野インランドポートの安定した運営を行い、港湾物流の中心として機能させることによって、物流関連企業及び輸出入企業の誘致の促進並びに、地元産業の国際競争力の強化を図ることをもって交流拠点都市の実現と活力ある産業の振興及び地元経済の活性化を目指す。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野インランドポートの取扱量を増加させることで、物流関連企業及び輸出入企業の誘致の促進並びに、地元産業の国際競争力の強化を図ることをもって交流拠点都市の実現と活力ある産業の振興及び地元経済の活性化を目指す。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
佐野インランドポート年間取扱貨物量	TEU	9,501	9,060	8,395		

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	指定管理者制度を活用して、佐野インランドポートの運営を実施した。 令和4年度の事業活動で利益が発生したため、基本協定に基づき施設納付金6,969千円を受け入れた。
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
指定管理による施設	箇所	1	1	1
事業費計	千円	320	162	190
一般財源	千円	320	162	190
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	新型コロナウイルス感染症流行以降、諸外国の物流に影響を受け、取扱量が減少している。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
佐野インランドポート年間取扱貨物量	TEU	9,501	9,060	8,395	値が大きいほど良い	効果が下がった

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 1指標 指標全体 効果が下がった	

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		○
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

諸外国の物流の変化や2024年問題などの物流業界の変化が激しいため、佐野インランドポートによる物流の安定に向けて、引き続き施設拡張の検討、情報収集及びポートセールス等を行っていく必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月29日

事業名	国際防災拠点整備方針検討事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-①	総合戦略	該当あり	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部	予算中事業名	予算科目	会計	1	事業計画	期間限定複数年度
	課	政策調整課	国際防災拠点整備方針検討事業		款	2	新規or継続	継続事業
	係	政策調整係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	113	名称	根拠法令、条例等	目	7	義務or任意	任意的事業
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	事業期間	開始年度	4	実施方法	直営
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり	終了年度	5	事業分類	計画策定・管理事業	
	施策	3	出流原P A周辺開発の推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	出流原P Aスマートインターチェンジ周辺及び国道沿道等において、東京圏企業の工場や事業所、本社機能等の移転を促進し、大規模災害時でも首都圏企業の事業継続が担保（バックアップ）される、また、友好交流している海外の都市との経済交流を図るなど、国際防災拠点の整備について検討を行う。 ・先事例の調査研究 ・整備内容・方法・場所などの調査研究 ・効果や課題などの調査研究
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	国際防災拠点に必要な機能・体制などを整理し、整備方針をまとめる。
-------------------------	----------------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
国際防災拠点の整備方針	件	-	0	1	-	-

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	国際防災拠点に必要な機能・体制の調査、整備方針の策定に向けた検討を行い、整備方針をとりまとめた。
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
方針策定に向けた協議等	回	-	6	7
事業費計	千円	0	0	498
一般財源	千円			498
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	国際防災拠点の整備方針を決定した。
------------------	-------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
国際防災拠点の整備方針	件	-	0	1	値が大きいくらい	効果が上がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標	費用の増減無し		
	指標全体	効果が上がった	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

専門的な知見を聴取したうえで国際防災拠点の基本的な考え方や今後の取組等を方針として整備することができた。 決定した整備方針に基づき必要となる機能や体制の整備を進めるため、企業等に対してどのような協力をいただけるか、どのような連携が可能か、ポテンシャル調査を行う必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
企業等に対してどのような協力をいただけるか、どのような連携が可能か、ポテンシャル調査を行う。

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年12月10日

事業名	出流原PA周辺総合物流開発整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	5-①	総合戦略	該当あり	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	事業計画	単年度繰り返し	
	課	企業誘致課				款	新規or継続	継続事業	
	係	産業団地整備係				項	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	113	名称	根拠法令、条例等	目	義務or任意	任意の事業		
	基本目標	1	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針	事業期間	開始年度	H30	実施方法	直営
	政策	1	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり		終了年度		事業分類	その他市民に対する事業	
	施策	3	出流原PA周辺開発の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	出流原PA周辺総合物流開発整備事業方針に基づきインランドポート核とした総合物流拠点の創出に向けて出流原PA周辺総合物流開発整備構想エリアの整備を推進する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	高速交通の要衝としての立地を活用し、インランドポートを核とした総合物流拠点整備を推進することにより産業基盤整備や企業誘致につなげていく。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
立地件数（累計）	件	0	0	1	1	1

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	問合せのあった企業に対して、産業振興エリアの案内を行った。
--------------------------	-------------------------------

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
問合せに対する対応件数	件	-	-	33
事業費計	千円	31,460	23	0
一般財源	千円	25,460	23	0
特定財源（国・県・他）	千円	6,000		
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	対象区域への民間開発の推進
------------------	---------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
立地件数（累計）	件	0	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない
					値が大きいほど良い	
					値が大きいほど良い	
					値が大きいほど良い	

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標 効果は変わらない指標数 1指標 効果が下がった指標数 0指標 指標全体	効果は変わらない

効果		
費用が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

産業振興エリアへの民間開発の推進

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	産業振興エリアのPR及び誘致活動
------	------------------